

## 第4回【がん患者における顎補綴・摂食嚥下リハビリテーション】講習会 アンケート結果

日時 :平成 28 年 12 月 8 日(木) 19:00~21:00

場所 :東京歯科大学 水道橋校舎西棟 1階ラウンジ

アンケート回収枚数 :42 枚 参加者 : 52 名

### I.性別

男	16
女	26

### II.年齢

10~20代	15
30代	13
40代	8
50代	3
60代以上	0
無回答	3

### III.職業

大学院生	10
研修医・専門医	4
医師	0
歯科医師	2
言語聴覚士	4
歯科技工士	1
歯科衛生士	13
看護師	4
理学療法士	0
作業療法士	0
管理栄養士	2
大学生	0
その他	1

その他・・・臨床検査(工学)技師 1名

IV.この講習会は、どのような方法で知りましたか？（複数回答を含む）

ポスター	9
大学メール	16
がんプロ HP	4
知人紹介	10
その他	3

その他…職場からの紹介、職場上司からの紹介

V.本講習会の感想をお聞かせ下さい。

大変満足	9
満足	29
普通	4
不満足	0
大変不満足	0
無回答	0

- ◆バルブ型スピーチエイドの効果は、患者のコミュニケーション確保、拡大につながると知ることが出来た。会話が出来ることは生活の満足度が高くなると思った。

VI.本講習会の内容について理解できましたか？

よく理解できた	6
理解できた	30
どちらともいえない	5
あまり理解できなかった	0
全く理解できなかった	0
無回答	1

VII.『がん患者における顎補綴・摂食嚥下リハビリテーション』に関する感想、ご意見などをお書き下さい。

- ◆高橋先生の下顎癌患者への誘導装置は興味深かった
- ◆各分野でこうしてほしいとかの希望等のディスカッションが出来る場があると更に良いと思った  
（インプラント、摂食嚥下、顎補、外科、衛生士 等）
- ◆私の職業が看護師であるため、日常生活援助の一環として行えるような治療のサポートなどがあれば知りたかった
- ◆レティナからの食物排出方法が参考になった  
自分の病院ではVFは画像のみの評価となっているため、せめて記録で状況も残しておこうと思った
- ◆舌欠損について詳しく知りたいと思った

- ◆チームワークをする上で、看護師が出来ることは何か考えたい
- ◆上顎欠損における顎補綴の機能回復効果があるということで(嚥下・構音障害)術後の生活をイメージ

しながら入院中のサポートをしていきたい

- ◆とても勉強になった
- ◆実際の症例も含めながら、分かり易い説明で良かった
- ◆普段なかなか質問が出来ないので、今後は摂食嚥下や顎補綴の先生にご相談させて頂き、患者さんに還元したいと思った
- ◆他分野のプロフェッショナルの臨床での経験が聞けてとてもよい
- ◆支持療法なくして、がん治療は出来ない、これからも続けていきたい
- ◆顎補綴についてもう少し細かいテクニック、種類などの日常に使える知識を教えて頂きたかった
- ◆大変勉強になった

VIII.本講演会に参加して頂いた理由は何ですか？(複数回答を含む)

講師が良かった	12
自分自身に必要	26
都合がついた	2
参加要請があった	1
その他	2
無回答	1

その他・・・聞いてみたかったから

IX.今後同様な講演会を開催した場合に参加したいと思いますか？

是非参加したい	16
参加したい	25
どちらともいえない	1
余り参加したくない	0
参加したくない	0

X.今後、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの企画等への希望や期待することなど、ご意見をお書き下さい。

- ◆他大学との情報交換
- ◆講義内容とは関係ないが、ドアの開閉が多く、とても寒かった
- ◆他大学の治療法や、頭頸部外科での治療や手術の講演を聞いてみたい
- ◆基礎コースに加えてアドバンスコースも作って欲しい

嚙下、顎補綴で専門的トレーニングコースが欲しい